

みんなで楽しく収穫

パッションフルーツ

甘酸っぱい香り
一つ一つ丁寧に

志布志・田之浦小

志布志市志布志の田之浦小学校の全児童24人が14日、地元のパッションフルーツ生産農家のハウスで収穫と出荷準備に挑戦した。甘酸っぱい香りが漂う中、一つ一つ丁寧に扱った。

J Aそお鹿児島果樹部会パッションフルーツ専門部会長の山中照男さん(66)のハウス。栽培面積は約16㍏で、今年は2㍏ほどの収穫を見込む。見

パッションフルーツを収穫する田之浦小児童

志布志市志布志町田之浦

児童は、明治時代に観賞用の花として持ち込まれ品種改良を経て人気の果物になったことや、県の栽培面積が全国一であることを学んだ。

その後、落下を防ぐ洗濯ばさみを外して実を収穫し、シール貼りや袋詰めを体験。4年の■さんは「紫の実が大きなブドウみたい。収穫する方法がおもしろくて楽しかった」と話した。

(福留梓)

